

中学生議員登壇！

12月15日に多古中学校2年生による模擬議会が行われました。政治を身近なものに感じるとともに、町議会や行政、町民が果たす役割について理解を深めようとするもので、12名の中学生議員が登壇し、日頃感じていることについて一般質問を行いました。



幸島 一世さん

問 多古台には町外からどのくらいの人に移住しましたか。町内から移住した人がいる場合、空き家や耕作放棄地が増えています。対策や取り組みはありますか。

答 平成29年4月現在、多古台には79世帯、265人の方が住んでおり、そのうち46世帯、138人が転入しています。空き家の問題は全国的な課題であり、検討部会に参加し情報を集めたり、実態調査を行い、町の実情や所有者の意向を踏まえ、空家等対策計画を現在考えているところです。

(都市計画課 都市計画係長)



芝山 電都さん

問 私が考える町の将来像は、農家の人々に代わり会社が経営する農業です。このことについて、町はどのように取り組んでいますか。

答 町としても、会社などが農地を耕作していくことが必要と考えており、すでに園芸作物を生産する農業生産法人などがあります。しかし米を主として生産している組織はなく、耕作放棄地を増やさないように、また農業経営を安定させるために経営の組織化や生産基盤の整備、一年を通した農作業ができるように米以外の作物も生産し収入を得る方を検討しています。

(産業経済課 農村整備係長)



吉次 莉咲さん

問 久賀地区の池田屋ストアからエービンまでの道で、大きな水たまりができていました。このような水たまりや冠水してしまう場所はどのように把握し、対処していますか。また久賀地区の道路は改善される予定はありますか。

答 道路の冠水箇所については、地元区長さんや通行者からの通報、職員の巡回等により把握しています。簡易的な工事に対応できる所については早急な改善が可能です。大規模な工事になると、解決までに時間がかかる場合があります。質問にある道路は主要地方道成田小見川鹿島港線といい、千葉県が管理している道路で、改善の予定については、県で応急的な対策を実施していると聞いています。

(都市整備課 建設係長)



前橋 真白さん

問 栗山川にゴミが捨てられており、気になります。栗山川をきれいにするためにどんな対策をしていますか。

答 一つは不法投棄の防止で、区長さんに監視員になって頂いたり、パトロールなどを行っています。もう一つは水質改善です。浄化槽の整備促進として補助金を交付したり、処理施設への接続を推進し汚水の流出防止を図り、水質を改善できるように各家庭に協力を求めています。

(生活環境課 環境係長)



香取 彩葉さん

問 一畝田地区では空港拡大のため移住する可能性がありますが、農業をしている方が農業を続けられるか心配です。また、空港の拡大によって町にどんなメリットとデメリットがありますか。

答 移転対策については、丁寧な話し合いを重ね、移転先や農業の継続についても、住民の意向に沿えるように検討していきます。デメリットとしては航空機騒音があげられ、メリットとしては雇用の創出、便利な施設の立地や交通機関の充実が期待できることです。

(企画空港政策課 空港地域振興係長)



小川 まなみさん

問 農業体験を学校のカリキュラムに取り入れることは可能ですか。食や農業についての関心が高まり、食料自給率を上げる第一歩になると思います。

答 各小学校で農業体験に関わるカリキュラムを取り入れ、地域の方々に協力してもらいながら、食や農業の大切さを学んでいます。今年度は中学校でも、多古高校と連携し大根の栽培を行いました。給食では地元の食材を積極的に取り入れており、このような努力も自給率の向上や、国内の農業を守っていくために欠かせないことです。

(学校教育課 学校教育係長)



議長
小川 晃誠さん



前田 樹奈さん

問 議会日よりから平成28年度の財政状況を見ると、歳出では商工費が前年より約50%も下がっているのに比べ、歳入ではふるさと寄附金などにより約1700%も上がっています。なぜ商工費は減らされてしまったのでしょうか。

答 平成27年度は商工会が実施するプレミアム商品券発行事業に平成24年度から10%だったプレミアム率を30%にし、販売数も増やしました。平成28年度については10%にプレミアム率が戻ったことから、約50%の減額となりました。

(産業経済課 経済振興係長)



宮内 大輝さん

問 駅ができる計画や予定はありますか。

答 町では総合計画というまちづくりの計画を定めており、「鉄道の駅を中心にしたまちづくりの計画や予定」の位置づけはありません。人口減少や、貴重な財源の効率の良い活用を考えると、バスによる公共交通の確保と充実が現実的だと考えられます。

(企画空港政策課 企画政策係長)



平山 健太郎さん

問 空き家の利用や仕事の紹介など、若者にサービスを提供することで人口増加が見込めます。人口を増やすためにどのような対策をしていますか。

答 住宅政策での人口減少対策として、新たに土地と新築住宅を取得して町内に定住する方に奨励金を交付しています。空き家については、今年度所有者にアンケートを行っており、その結果をもとに、利活用を希望する方の物件の調査等、対策推進に努めていきます。

(都市計画課 都市計画係長)



椎名 愛莉さん

問 子どもをもつ母親たちの交流の場となるような娯楽施設の入った商業施設ができる予定はありますか。ない場合、計画等はどのように進められますか。

答 そのような計画はありませんが、新たな企業を誘致していくことは重要と考えています。魅力ある街を目指し、道路整備や多古台開発など各種事業を進めています。

(産業経済課 経済振興係長)



秋庭 佳亮さん

問 町に高齢者の介護を行う施設があることを職場体験で知りましたが、どのくらいあり、その数は高齢者の数に合っていますか。施設に入るための補助金など、対策等はどのように取り組んでいますか。

答 ケアハウス、特別養護老人ホーム、グループホームがあります。ほかにも、介護サービスを受けられる様々な施設があり、できるだけ皆さんが元気でいられるように「いきいき元気塾」のような介護予防の教室を実施しています。

(保健福祉課 介護保険係長)



越川 悠翔さん

問 子どもを減らさないためにどのような政策を行っていますか。

答 多古こども園の整備や医療費助成など、子どもを産み育てる環境を整備しています。また、町の魅力を発信するなど移住の促進や、結婚する人が減っていることも要因にあるので、婚活イベントなどを行っています。

(子育て支援課 こども係長)

模擬議会を終えて

菅澤 行男 校長

13名の中学生議員をはじめ、2年生全員が中学生議会に参加させていただきました。普段の学校生活では味わえない貴重な体験でした。生徒たちは18歳になると選挙権が得られます。この体験をもとに、町の議会や政治や行政に関心を持ち、日本国民として、多古町民として物事をきちんと考え、正しく行動できる人になってほしいと思います。

謝辞 小川 晃誠さん

体験を通して、より良い町をつくるためにこのような話し合いが行われていることを知ることができました。そして、政治に参加する意義について中学生のうちから理解し、考えていかなければならないと感じました。

参加したみなさん

- もつと政治のことに関心をもちたいと思いました。
- 町議会に興味をもったので、インターネットなどで見てみたいと思いました。
- 町のために一生懸命頑張ってくださいたいことに気がつきました。
- ボランティアなどに参加して、町の発展に関わりたいと思いました。
- 丁寧に説明してくださったので、よく理解できました。
- 中学生議員の質問に真剣に答弁してくれたことを嬉しく思いました。